

長中魂



令和 元年10月 1日 (火)

第 7 号

伊豆の国市立長岡中学校だより

文責 土屋

H31年度 全国学力学習状況調査の結果を受けて

4月に3年生が行った「全国学力・学習状況調査」の主な結果についてお知らせいたします。表は、本校と県、全国の平均正答率を比較した結果です。

【県・全国平均を上回っていれば◎、同じならば○、若干下回っていれば△、下回っていれば▲】

| 科目 | 県平均比較 | 全国平均比較 |
|----------|-------|--------|
| 国語 | △ | ○ |
| 数学 | △ | ○ |
| 英語 | ◎ | ◎ |
| 英語(話すこと) | | ▲ |

全国平均と比較すると、国語・数学は同じで、英語は上回りました。県平均と比較すると、国語、数学は若干下回りました。英語は、初めて実施されましたが、全国平均よりかなり上回り、県平均よりは少し上回りました。英語の「話すこと」の調査では、全国平均をかなり下回りました。個別のデータを見ると「無回答」がかなり多くなっています。

大きく見れば、国語・数学については県平均以下であるものの、全国平均程度、英語は、県と全国平均より上という結果となりました。英語「話すこと」については、無回答が多い状態となっており、全国平均よりかなり下回って、無回答が多いことの検証が必要と思われます。結果の分析は以下で示し、それに基づいて改善を図っていききたいと思います。

全国学力状況調査から見て取れるのは、4月時点における学力の一部であり、また、本調査に取り組んだ一人一人の生徒に成果と課題が存在します。この結果に一喜一憂することなく、今後も地道に生徒一人一人の「確かな学力の育成」に努めていきます。

<国語の分析>

- ・「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」「封筒の書き方を理解して書く」問題で、県・全国の平均を上回っている。
- ・「相手に分かりやすく伝わる表現について理解する」「論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する」問題等では県・全国平均より下回っている。特に、「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ」「根拠を明確にして書く」問題では、無回答の割合が1割前後と多く、県平均との差も大きい。



<数学の分析>

- ・「四則計算の可能性」「平行移動の意味」についての理解を問う問題では、県・全国の平均をかなり上回っており、正答率も高い。
- ・「グラフ上2点の y 座標の差を、事象に即して解釈する」問題の正答率が県・全国の平均を上回っている。
- ・「連立二元一次方程式」「問題解決の方法を数学的に説明する」「三角形の合同条件」等の問題では、県・全国の平均をかなり下回っている。特に「結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明する」問題は正答率が県・全国の平均より10ポイント以上低く、無回答の割合が25%を超えている。
- ・他にも無回答の割合が10%を超えたものがあるが、正答率はそれほど低くはない。



<英語の分析>

- ・人称、複数、時制を把握して正確に書くいくつかの短答問題では、県・全国の平均よりかなり高い。
- ・適切な接続詞を選ぶ問題では9割以上が正答し、県・全国の平均を10ポイント以上上回り、無回答はない。
- ・正確に読み取ったり、話の内容や書き手の意見などをとらえたりする問題で県・全国の平均を10ポイント程度上回っている。
- ・音の変化や情報を正確に聞き取る問題では県・全国の平均を下回っているが、正答率は7～8割程度ある。
- ・無回答の割合は県・全国の平均と同程度である。

<英語(話すこと)の分析>

- ・無回答の割合が6割程度あり、全国平均よりも圧倒的に多くなっている。
- ・パソコンによる調査で、音声レベルを画面上で確認して行っており、実施時にはほとんどの生徒が回答していたように思われたが、録音がされていないものが多いようである。

【今後の取り組みについて】

<国語>

- ・「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の学習において、聞き手や読み手に伝わりやすい表現について具体的に学ぶ課題や場面を設定して、理解を深めるとともに、対話活動や表現活動の中でも実践する機会を多く持つようにします。
- ・授業では、教材や課題をきちんと理解した上で、それに対する自分の考えとその根拠を明確にできるよう、じっくり読んだり考えたりする活動を大切にしていきます。

<数学>

- ・数量の関係を、数式や表、グラフで表現したり処理したりする技能の定着を図ります。
- ・問題解決のための手順を考えたり、様々な解決方法の良さに触れたりするために、小集団での対話活動や全体での共有の場면을工夫していきます。
- ・身近な事象や生活場面のできごとを題材にしたり、新たな関係を見いだすような課題を設定したりすることで数学的に考えるよさに触れる機会を持つようにします。

<英語>

- ・話されたり書かれたりしている内容について理解するだけでなく、理解した内容を踏まえて、自分の考えや意見を伝えられるように指導していきます。
- ・相手に伝わる英語で表現したり、正確に聞き取ったりすることができるように、基本的な語や文法事項の定着を図っていきます。

生徒質問紙の回答状況について

【県・全国平均を上回っていれば◎、同じならば○、若干下回っていれば△、下回っていれば▲】

| 項目 | 県平均比較 | 全国平均比較 |
|------------|-------|--------|
| 読書への関心等 | △ | ◎ |
| 新聞への関心等 | △ | △ |
| 数学への関心等 | ◎ | ◎ |
| 英語への関心等 | ◎ | ◎ |
| 地域活動への関心等 | ▲ | ◎ |
| 規範意識 | △ | △ |
| 課題解決への取り組み | ○ | ◎ |
| 自尊感情 | ○ | ◎ |
| 生活習慣 | ▲ | ▲ |
| 学習習慣 | △ | ○ |

【分析と今後の取り組みについて】

「自分にはよいところがある」では、当てはまると答えた生徒は県よりは少し、また全国よりはかなり多い。しかし、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」では、どちらかと言えば当てはまるまでを含めても、県・全国より少なくなっている。「**自尊感情**」が、高い生徒が多い一方で、それほど高くない生徒も、ある程度いる。行事や学級の活動等を通して、話し合いを生かしたり、やり遂げた達成感を味わったりしている生徒は多い。さらに活躍の場面を増やし、また教員や保護者、地域の方から認められる経験を増やして、さらに高めていきたい。

「**規範意識**」については、「学校の規則を守っている」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた生徒の割合は全国平均、県平均よりやや少ない。

これまで、生徒会を中心に、「長中魂」の「た・ま・し・い」を意識して生活することを推し進めてきたが、力を入れてきた上級生が卒業し、その意識がやや低くなってきているのかもしれない。今後、道徳教育の充実及び「長中魂」を心の支柱とする生徒であるようにさらに支援したい。

「**生活習慣**」については、「朝食を毎日食べている」、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」、「毎日同じくらいの時刻に起きている」と答える生徒が全国平均、県平均よりもかなり少ない。時間の使い方を工夫し、就寝・起床の時間を規則的にすることで睡眠を確保し、また朝食を食べられる時間に起きることができるようになると思われる。保護者の皆さまと連携していきたい。

「**学習習慣**」については、「普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」については、2時間以上取り組んでいる生徒の割合が県・全国の平均よりかなり多い。特に3時間以上と答えている生徒は、県・全国平均の3倍近くいる。

「自分で計画を立てて勉強している」と答える生徒の割合は、県、全国平均よりかなり少ない。塾等で与えられた学習だけでなく、より主体的な学習の取り組みとなるように指導したい。

